

**2022 第10回ブラックサンダーカップ
兼 第58回東三河U-12少年サッカー大会 要項**



1. 主 催 (公財) 愛知県サッカー協会 東三河地区協会
2. 主 管 (公財) 愛知県サッカー協会 東三河地区協会 4種委員会
3. 後 援 特別協賛 有楽製菓株式会社
4. 期日および会場

2022年11月26日(土) 1・2回戦 (蒲郡市海陽多目的広場 豊橋市かもめ広場)

2022年12月10日(土) 1・2回戦 (豊橋市 かもめ広場)

2022年12月11日(日) 3回戦・準々決勝 (豊橋市かもめ広場)

2022年12月17日(土) 準決・決勝 (蒲郡市海陽多目的広場)

2022年12月18日(土) 予備日 (蒲郡市海陽多目的広場 豊橋市かもめ広場)

2023年1月21日(土) 予備日 (豊橋市かもめ広場)

注意1) 本大会の上位4チームがAIFA卒業記念サッカー大会 第15回MUFGカップ
2022 兼AIFA第21回U-12サッカーチャンピオンズカップ2022へ参加する。

2月5日(日) 松屋地所FF(予選ラウンド) ※予備日2月12日(日) 松屋地所FF

2月25日(土) 松屋地所FF(決勝ラウンド)

注意2) 大会期間中の学校行事は、分かり次第 小学校名・選手名・行事名を浦野競技委員長に
連絡すること(参加状況確認書の再提出にてご連絡願います)。

5. 参加資格

①2022年度(公財)愛知県サッカー協会に登録したチーム及び選手で6年生以下の者。

※必ずチーム内に6年生がエントリーされていること。

※エントリー人数に対して6年生の人数が半分にも満たない場合は権田委員長まで連絡を
いれること。

②複数チームの申込可。その場合はエントリー表ファイルを複写し作成する。

③複数チームで申し込む場合は、同一チームの認識とする。

ただし、エントリー締切り後の選手の入替え・追加等は認めない。

④複数チームで申し込む場合は、監督・帯同審判員を兼ねることは出来ない(コーチは重複可)。

ただし、当日の運営に支障をきたさない場合は、帯同審判員を兼ねることも可とする。

⑤複数チームで申し込む場合は、チーム名にA・B・C……と表記する。

A・B・Cによるチーム構成に関して大会本部は関知しないが6年生未満のみでチーム編成しない。

⑥大会参加者は必ずスポーツ安全保険等に加入しておく。加入のない者は参加できない。

- ⑦チーム及び選手は10月16日(日)までにWeb登録完了(2次承認後の登録費支払いを完了)している者とする。 ※「最終承認」の状態とする事。
- ⑧各チームの登録選手は、原則としてJFA発行の選手証(2022年度登録版)を持参すること。
(選手登録一覧表、スマートフォンやタブレット等の電子デバイスなどで提示は不可。)
※選手証とはJFAのWEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証を印刷したものを示す。
ただし、写真(各種証明書写真同等の顔サイズ)貼付けにより顔の認識が出来るものであること。
- ⑨新型コロナウイルス感染予防について、別紙の【健康チェックシート・個人用】により選手・コーチ・スタッフの健康状態をチームで確認し、大会当日には【健康チェックシート・まとめ】を大会本部に提出すること。少しでも体調に異変のある選手は無理に参加させないこと。
また、試合中のマスクは会話を控えることを前提に控え選手・指導者は外しても良い。
※ただし、施設のガイドラインがあればそれに従う事。

6. 大会形式

- ①試合時間は40分(前後半20分)とする。
- ②トーナメント方式を採用
準々決勝戦において同点の場合は、5分・5分の延長戦を行なう(準決・決勝戦は延長戦無し)。
それでも決しない場合はペナルティーマークからのキック(3名)により決定する。
ペナルティーマークからのキック(3名)で決しない場合は、サドンデスで決定する。
- 注意3) 試合終了し、ペナルティーマークからのキックを行なう前に、一方のチーム競技者が相手チームより多い場合、競技者の多いチームは相手競技者数と等しくなるように競技者数を減らさなければならない。チームの監督は、除外する競技者の背番号を主審に通知しなければならない。これによって、除外された競技者はペナルティーマークからのキックに参加することはできない。
- 注意4) ペナルティーマークからのキック時に試合終了時のフィールドプレーヤーがゴールキーパーを行なう場合のゴールキーパーユニフォーム(上着のみ)【出場選手の登録番号以外でも可とする。またエントリー表に未登録の番号でも可とする。】を着用しなければならない。交代したゴールキーパーは登録された選手番号のフィールドプレーヤーユニフォーム(上着のみで可)を着用しなければならない(この場合のシャツ・パンツはGK用でも可)。

7. 競技規則

本大会競技規則はIFABによって制定されたサッカー競技規則2021/22及び(公財)日本サッカー協会8人制サッカー競技規則に準ずる。
ただし、上記競技規則に準じていない項目に関しては、本大会要項にて明記する。
かつ本大会要項の「21. 最終判断および決定」に準ずる。

8. 競技時間

- ①試合時間は前・後半とも20分間とし、ハーフタイム(前半終了の笛から後半開始まで)は10分以内とする。

②規定の試合時間内に勝敗が決しない場合、ペナルティーマークからのキックにより勝者となるチームを決定する。

ただし、代表決定戦は 前・後半 5 分ずつの延長戦を行い、なお決しない場合はペナルティーマークからのキックにより勝者となるチームを決定する。

延長戦はハーフタイムを設けず、コートチェンジのみ行なう。

③延長戦に入る前のインターバルは 5 分、ペナルティーマークからのキックに入る前のインターバルは 3 分とする。

9. 競技者数

①試合登録選手は最大 16 名とし選手交替は 8 名（自由な交替を採用）までとする。

②チームの競技者のうち 1 名はゴールキーパーとする。

③本大会において試合開始の最低競技者数は 6 名（GK を含む）とする。

満たない場合は不戦敗とする。

④上記③において対戦相手は、競技者数を合わせる必要はない。

⑤最低競技者数 6 名（GK 含む）に満たない場合は、不戦敗とする。試合中の怪我等で 6 名に満たなくなった場合も没収試合とし、不戦敗とする。

⑥エントリー時の選手登録人数は 8 名以上でなければならない。

10-1. 競技者の用具（ユニホームについて）

①ユニフォームについては正副 2 着 4 色（シャツ・ショーツ・ソックス、フィールドプレーヤー・ゴールキーパー）をエントリー表に記載し各試合必ず携行すること。試合は参加申込時に登録されたユニフォームを使用することを原則とする。

正副の 4 色については明確に異なる色とし、同系色の使用は避けること。

②チームのユニフォーム（ゴールキーパーのユニフォームを含む）のうちシャツの色彩は、審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得るものでなければならない。

③新規選手等により同デザインのユニフォームが廃止されている場合は、類似デザインの同色は可とする。

上記③は、事前に浦野競技委員長に連絡し監督会議及び抽選会に旧デザイン・新デザインを持参し承認を得たものに限る。

④アンダーシャツ及びアンダーショーツタイツの色は問わない（ライン入りは不可）。

チーム内で同色のものを着用する

GK については、GK ユニフォームの袖またはパンツと同色の物の着用も可とする。

（チーム内でアンダーシャツ・アンダーショーツ及びタイツの着用・未着用の混在も可とする。）

⑤GK で出場する選手は、GK ユニフォームのシャツを必ず着用すること。

ショーツおよび、ソックスについては、FP 用・GK 用いずれの着用も認める。

- ⑥GKの選手番号については、出場選手の登録番号以外でも可とする。また、エントリー表に未登録の番号でも可とする。ただし、選手交代時に補助審に氏名および登録番号の確認を受けること。（例えば、選手番号「1」のGKユニフォームを他の選手番号の選手が着用して出場しても良いが着回しはしない。）
- ⑦GKから交代した選手がFPとして出場する場合は、登録した選手番号の付いたユニフォームを着用すること。（GKの選手番号とFPの選手番号が被ることも可とする。）また、パンツ・ソックスについてはFP用を着用する。
- ⑧FP用シャツの前面・背面には、参加申込の際に登録した選手番号を付けること。
- ⑨GK用シャツについては、登録した選手番号または未登録の番号でも可とする。
- ⑩選手番号については、参加選手ごとに大会に登録されたものを使用する。
- ⑪ユニフォームの色、選手番号の参加申込締め切り以後の変更は認めない。

【※選手番号：通称「背番号」のこと】

10-2. 競技者の用具（その他）

- ①すべての装身具（ネックレス、指輪、ブレスレット、イヤリング、皮革でできたバンド、ゴムでできたバンドなど）は禁止されており、外さなければならない。
※長髪な選手が髪を後ろで束ねるためのヘアゴムやゴム製ヘアバンドは可とする。
装身具をテープで覆うことは、認められない。
ヘッドギア、フェイスマスク、また膝や腕のプロテクターなど危険でない保護用具で、柔らかく、軽いパッドが入った材質でできているものは、ゴールキーパーの帽子やスポーツめがね（柔らかい素材で出来た物）同様に認められる。
- ②選手の靴は、サッカーシューズもしくはトレーニングシューズを着用とする。
- ③選手は、すね当てを着用すること。
- ④ソックスにテープまたはその他の材料のものを貼りつける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。

11. 交代手続き

- ①交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールドの外に出る。
- ②交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り競技者となる。
必ず退く競技者がフィールドの外に出てから、交代要員はフィールドに入る。
- ③交代は、ボールがインプレー・アウトオブプレーにかかわらず行なうことができる。
- ④交代は、主審・補助審判の承認を得る必要はない。
- ⑤ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上でボールがアウトオブプレーの時に入れ替わることができる。

注意 5) 交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でフィールドのどこからでも離れてもよい。

12. 負傷者への対応

- ①主審が認めた場合のみ、最大2名のチームスタッフがピッチへの入場を許可される。
- ②負傷者への対応・ベンチコントロールが同時に発生するため、チームスタッフが最低2名ベンチ入りすることが望ましい。
チームスタッフのベンチ入りが1名の場合は、負傷者への対応を優先すること。

13. テクニカルエリアおよびベンチ

- ①便宜的にテクニカルエリアを設置することとする。
- ②ベンチには原則として監督1名、コーチ2名、控え選手8名のみ入ることができる。控え選手は、ビブス（自チームフィールドプレーヤーユニホームシャツと異なる色、色は揃っていなくても可）または練習着等（自チームフィールドプレーヤーユニホームシャツおよび対戦相手チームフィールドプレーヤーユニホームシャツのどちらとも異なる色、色は揃っていなくても可）を着用する事。
- ③監督もしくはコーチのいずれか1名が、その都度、戦略的指示を伝えることができる。
- ④子どもたちへの大会参加を配慮し、ベンチ入りは登録上限の16名を超えて23名まで可能とするが登録選手（16名）以外は出場できない。（参加申込締切以降の選手の入替え・追加等は認めない。）上記の場合には、事前に浦野競技委員長に連絡し参加申込締切りまでに23名用のエントリー表を提出すること。
- ⑤必ず指導者ライセンス（JFA認定D級ライセンス以上）保有者がベンチ入りすること。
WEBにて指導者ライセンス証（顔写真付き）を作成（プリントアウト）し大会本部に提示をすること（スマートフォンやタブレット等の電子デバイスなどで提示も可とする）。

14. 試合球

対戦チーム持参による4号球（空気圧は、0.6～1.1気圧）を使用する。

15. 審判員

- ①1人の主審と補助審判が指名される。
- ②4級以上の有資格者が行うこととする。審判員はWEBにて審判証（顔写真付き）を作成（プリントアウト）し大会本部に提示をすること（スマートフォンやタブレット等の電子デバイスなどで提示も可とする）。
- ③審判割り振りは対戦表にて掲載する。
- ④審判服は黒色を着用し、資格者証（ワッペン）を胸に表示すること。
- ⑤靴はサッカーシューズもしくはトレーニングシューズを履くこと。
- ⑥装身具については、「10-2. 競技者の用具（その他）①項」と同様とする。

注意6) 各チーム原則として2名の審判員（有資格者）を帯同させること。ただし、大会スケジュール確定後、チームによっては1名の帯同審判でも可能な場合はこの限りではない。

注意7) 主審・補助審判は、試合開始前に競技者全員のチェック（靴・すね当て・名前・背番号）を行なう。

16. 警告退場

- ①競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。
- ②主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。
- ③本大会において退場を命じられた競技者・指導者は、次の1試合に出場できない。
- ④本大会の異なる試合において警告を累計2回受けた競技者・指導者は、次の1試合に出場できない。
注意 8) 退場命じられた競技者・指導者は、競技のフィールド周辺およびテクニカルエリア周辺から離れなければならない。
- ⑤東三河地区大会における「警告」「退場」は決勝大会へ持ち越しとなります。

17. 懲罰

- ①本大会は、大会規律委員会を設ける。
- ②本大会規律委員会の委員長は東三河地区協会4種委員長とし、委員の任命については4種委員長が決定する。
- ③本大会期間中に警告を2回受けた者は、次の1試合に出場できない。
- ④本大会に於いて退場を命じられた選手は、自動的に次の1試合に出場できない。
- ⑤帯同審判員がない場合は規律委員会の審議対象となる。
- ⑥指導者ライセンス（JFA認定D級ライセンス以上）保有者がベンチ入りしない場合は、不戦敗とし規律委員会の審議対象となる。
試合中の退席等により指導者ライセンス（JFA認定D級ライセンス以上）保有者が不在になった場合は、規律委員会の審議対象となるが試合は続行・成立するものとする。
- ⑦いかなる不正行為も規律委員会の審議対象となる。
- ⑧本大会要項に記載事項のない懲罰に関する事項は、大会規律委員会にて決定する。
補足）基本的な考え方として、選手が受ける懲罰はゲーム中の警告・退場であり、チーム運営等にかかる懲罰に関してはチーム代表者もしくはチームスタッフが負うべきであり、そのことによって「子どもたちのサッカーをする権利および機会」を奪うものではない。

18. エントリー表送付先

- ①送付先：東三河地区協会4種委員会 浦野競技委員長までメールで提出すること。
- ②提出期限：10月16日（日）19：00必着。それ以降のエントリーは受け付けない。
- ③エントリー表の書式は規定の書式（Excel版）で提出すること。書式の変更不可。
※ファイル名の【チーム名】のカッコ内に変更し提出してください。
- ④その他、本大会な不明な点については、浦野競技委員長に連絡すること。

19. 監督会議及び抽選会

- ①日 時：10月29日（土）19：40～（開始時間が前後する可能性があります。）
※同会場にて 18：30～19：30 ナカジツカップ監督会議を開催。
- ②場 所：豊川市文化会館・大会議室（豊川市代田町1丁目20番地の4）
- ③各チームから代表1名のみ必ず出席する。1名で複数の抽選をすることはできない。
- ④父母の代理出席は認めない。（大会組合せ、会場・審判上の諸注意等を行うため。）
- ⑤保護者の代理出席しか都合のつかない場合は、事前に権田委員長に連絡をすること。
- ⑥出席者は新型コロナウイルス感染防止の為、必ずマスクを着用する事（体調に留意）。
- ⑦新型コロナウイルス感染拡大により、Web会議や代理抽選に変更する場合があります。

20. 大会参加料

1チーム3,000円（監督会議時に徴収いたします）

21. 最終判断および決定

本大会の実施に関して、競技規則および本大会要項に定めのない事項については、東三河地区協会4種委員会が最終的に判断・決定するものとする。

※大会期間中に大会関係者（参加チーム含む）より新型コロナウイルス感染が確認された場合の対応については別途連絡する。

22. 連絡先

- ①権田委員長 tel：090-5244-0503 mail：t.gonda-503@outlook.jp
 - ②浦野競技委員長 tel：090-4790-7366 mail：mu6412@ion.ocn.ne.jp
 - ③夏目審判委員長 tel：090-3253-5366 mail：hide-11.15@xg7.so-net.ne.jp
- 注意9) 上記①②③は、個人情報のため取り扱いにご注意下さい。

23. 大会運営時の注意事項

<大会本部への提出・確認に関して>

- ①選手は事前にツメを短くしてください。
- ②試合開始30分前までに選手およびコーチは大会本部にて選手証、指導者ライセンス証およびサブユニフォームの確認をしてもらうようにしてください（試合に出る服装・用具にて）。
- ③試合開始30分前までにエントリー表（スターティングメンバー及び着用するユニフォーム色に○・試合会場及び対戦相手を記載する）1部大会本部に提出して下さい。

注意10) サブユニフォームは色の確認をします（番号の指定はありません）

FPおよびGKの両方のサブユニフォームを持参して下さい。

<審判に関して>

- ① 審判員の方は、試合前に大会本部にて該当試合のチーム確認及び結果報告書・エントリー表の受け取りを行なって下さい。
- ② 審判員の方は、試合開始 15 分前までに大会本部にて審判証を提示して下さい。
- ③ 試合終了後は速やかに、大会本部に試合結果（「結果報告書」にてスコア・得点時間・得点者・警告者等を報告して下さいの提出）。
- ④ 大会毎に会場での審判打合せがある場合は、審判を行なう方が必ず出席して下さい。

<ユニフォームの選択に関して>

- ① 組み合わせ表の左側チーム(又は上)がメインユニフォームを着用することを原則とします。
- ② 対戦チームの着用する色が重複しなければ、①の限りではありません。
- ③ 上記②において、審判がユニフォームの色の判別が難しいと判断した場合は審判の指示に従ってください。

注意 11) 事前に対戦チーム同士で協議を行なって下さい。

<試合前・試合中のアップに関して>

- ① 試合前および試合中のアップは、試合の妨げにならない場所にてお願いいたします。
- ② 試合と試合のインターバルは、次の試合のチームのみピッチ内にてアップ可能ですが、キックオフの遅延にならないように審判の指示に従い、速やかに準備・整列をお願いいたします。
- ③ ハーフタイム時のアップは試合中のチームの（控え）選手のみピッチ内にてボールを使用可能ですが、後半戦開始の妨げにならないように行なって下さい。
- ④ 試合中、控え選手のベンチサイドでのアップは、ボールを使用せずに行なって下さい。

注意 12) アップ場所が指定されている場合は、厳守して下さい。

<選手の飲水について>

- ① ピッチの外側に飲料水を適宜置くことを、可とします。
- ② WBGT 値により飲水タイムを適用する場合がありますが、飲水タイム（アディショナルタイム 約 1 分）に選手がタッチライン外側に出ることなく素早く飲水できるような準備に努めて下さい。選手が素早く飲水するためにタッチライン外側に出た方が早い状況もありますので、臨機応変に対応して下さい。
- ③ 上記②の飲水タイムおよびクーリングブレイク適用時においても、選手がプレー中に必要な場合は飲水を可とします。

<保護者に関して>

- ① 保護者の応援は節度ある応援に努めるよう各チームのご指導をお願いいたします。
※ 観戦については別紙の【改訂版_保護者観戦時の注意事項】も遵守願います。
- ② 保護者応援に関しては、各チームの管理下であり大会本部は指導・注意する立場にありません。
ただし、あまりにもモラルなき応援の場合は、しかるべき対応を取る場合がある事をご理解ください。
- ③ 保護者の言動については、各チームが責任を持って指導・管理を行なって下さい。
トラブルが発生した場合、協会として事実確認等の聞き取りは実施しますが、トラブル自体の解決は当事者同士となりますので、予めご了承下さい。

<選手へのコーチングに関して>

テクニカルエリア（便宜的）にてコーチが戦略的指示をすることは認められていますが、選手に対する暴言（＝言葉の暴力）は認められていませんので、ご注意ください。

JFA では暴力根絶を掲げて活動をしていますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

※ベンチからテクニカルエリアに出て戦略的指示を出す際は、マスクを外しても良い。

<選手の移籍に関して>

日本サッカー協会は「アマチュア選手の移籍に関する手続きの理解、促進および大会要項等の出場資格の適正化に向けて」を報告し、基本的な考え方として「移籍した選手は協会が移籍を承諾した日から公式試合に出場する権利を有する。」と明記してあります。

よって、本大会においても選手の移籍期間に何ら制限を加えるものではありませんが、常識として参加申込時に本大会参加予定チームへの移籍が完了していることとします。

また、移籍元および移籍先のチーム代表者は、移籍がスムーズに行われるよう迅速に手続きをしてください。

《 重要事項 》

個人情報保護法に伴い、「エントリー表」及び「新聞紙上」への選手個人の氏名・登録番号（エントリー表のみ）・背番号・ポジション等の掲載について、選手本人と保護者の承諾を必ずとってください。

承諾が得られない場合は、その旨をエントリー表に記入し、別紙にて報告してください。

なお、本エントリー表は、大会終了後、4種委員会にて責任を持って処分いたします。

ご協力の程よろしくお願いいたします。

以 上